1．健康長寿推進室

当室の担当業務（表1）の平成23年度の実施内容は、以下のとおりであった。

表1　健康長寿推進室の担当業務

1 業務の企画、総合調整および評価
　(1) 企画運営会議の運営
　(2) 機関評価・研究課題評価委員会の運営
　(3) 疫学倫理審査委員会の運営
　(4) 他機関との連絡調整
2 衛生および環境に関する情報収集・提供
　(1) 福井県の出生に関する統計の作成
　(2) 保健衛生に関する情報提供
　(3) 環境情報総合処理システムによる情報提供
　(4) 花粉情報の提供
　(5) 研究センター活動情報の発信
　(6) 専門雑誌等の受入れおよび情報システム運営
3 衛生および環境に関する教育および学習の推進
　(1) 衛生・環境教室等の開催
　(2) 環境情報コーナーの運営
4 健康寿命の算定
5 衛生検査関係者および環境技術者の研修および指導
　(1) 技術研修会の開催
　(2) 研修生の受入れ
　(3) 所内研究発表会の開催
6 調査研究

1．1　業務の企画、総合調整および評価

(1) 企画運営会議の運営

所長、部室長、総括研究員で構成する企画運営会議を運営し、当センターの試験研究の計画等について審議した。

(2) 機関評価・研究課題評価委員会の運営

企画運営会議と同メンバーで構成する内部評価委員会、および学識経験者、企業経営者など委員8名で構成する機関評価・研究課題評価委員会（外部評価委員会）を表2のとおり運営した。

外部評価委員会の委員名ならびに委員会の評価結果については、Ⅰ運営概要の6．機関評価・研究課題評価に記載した。なお、外部評価委員会には本庁関係課にオブザーバーとして参加協力を得た。

表2　機関評価・研究課題評価委員会の運営状況

年月日	内　　容
H23.7.5 7.7	・内部評価委員会の開催 (事前2題、中間14題、終了11題)
7.21	・評価結果報告
8.24	・外部評価委員会の開催 機関評価および研究課題評価 (事前2題、中間10題、終了7題)
11.30	・評価結果報告

(3) 疫学倫理審査委員会の運営

平成23年度は審査対象となる疫学研究課題がなかったため委員会を開催しなかった。

委員名についてはⅠ運営概要の7．疫学倫理審査に記載した。

(4) 他機関との連絡調整

北陸三県環境研究所、福井大学地域環境研究センター、本庁の地域産業・技術振興課産学官連携推進室等との連絡調整の窓口を務めた。

また、平成23年度は当センターが地方衛生研究所全国協議会東海・北陸支部環境保健部会の開催当番機関であったため、当室が事務局となって10月6、7日に福井市のアオッサで部会を開催した。参加者は各機関の所員計22名で、内容は表3のとおりであった。

表3　地方衛生研究所全国協議会東海・北陸支部環境保健部会の内容

年月日	内　　容
H23.10.6	・特別講演 演題「健康増進・管理　～身体活動からのアプローチ～」 講師　平井一芳　氏 （国立大学法人福井大学医学部国際社会医学講座環境保健学領域助教） ・研究発表1－環境保健分野4題
10.7	・研究発表2－疫学情報分野3題 ・研究発表3－その他分野3題

1．2　衛生および環境に関する情報収集・提供

(1) 福井県の出生に関する統計の作成

平成13～22年の人口動態統計の出生・婚姻のデータをもとに、福井県の「出生に関する統計」を関連各課、健康福祉センターと共同で報告書としてまとめ、県のホームページ（地域福祉課）上で公開した。

(2) 保健衛生に関する情報提供

がんを含む生活習慣病に関する保健衛生統計および健康指標について、要望のあった関係機関に情報を提供した。

(3) 環境情報総合処理システムによる情報提供

環境情報のホームページ「みどりネット」の登録情報の追加更新、行事案内等の掲載、データベース更新等を行った。

(「みどりネット」: http://www.erc.pref.fukui.jp/)

① ホームページ登録情報の追加更新
- 平成23年度環境白書(本編・資料編)
- 平成22年度ダイオキシン類調査結果について
- 「福井県から見る地球温暖化」調査研究報告書
- 平成22年度公共用水域および地下水の水質の測定結果および平成24年度計画について
- 平成22年度自動車交通騒音常時監視調査結果について
- 平成22年度大気・水質の常時監視結果と公害苦情の概要について

・平成23年度海水浴場の水質調査結果について
・環境ふくい推進協議会情報紙「みんなのかんきょう」およびメールマガジン(平成23年度発行分)等

② 行事案内等の掲載
・「環境マネジメントセミナー」の参加者募集
・「ふくい環境フェア2011」の開催
・「環境バスツアー」の参加者募集
・「ふくい環境貢献活動支援事業」資金活用団体の参加者募集等

③ データベース更新
・環境関係事業場届出データ（平成22年度末）
・公共用水域水質測定データ（平成22年度分）
・衛生環境研究センター年報－調査研究報告題名（平成22年度分）　等

(4) 花粉情報の提供

① ホームページによる情報提供

福井市、敦賀市におけるスギ、ヒノキ花粉飛散シーズン中の毎日の飛散量、ならびに花粉症や花粉に関する情報をホームページ上で情報発信した。

なお、飛散量測定は、福井市分については当センターの所員で構成する花粉情報提供システム推進チームの測定班が行い、敦賀市分については二州健康福祉センター所員の協力を得て行った。

（「福井県花粉情報ホームページ」:
http://web.erc.pref.fukui.jp/ ）

② マスメディアによる情報提供

花粉飛散の状況等について、報道機関（新聞・テレビ）の要望に応じて情報提供した。

(5) 研究センター活動情報の発信

① 所報・広報誌の編集・発行（所報委員会）

衛生環境研究センター年報（平成22年度）を発行した（11月）。また、広報誌「衛環研だより」（第9号、第10号）を発行した（9月、3月）。

② センターホームページの運用

当センターの業務・活動内容について情報発信したほか、所報等の刊行物の内容を掲載した。

（http://www.erc.pref.fukui.jp/center/ ）

③ 環境研究紹介パネルの作成・展示

当センターの環境研究を紹介するパネルを環境部、保健衛生部の協力を得て作成し、環境月間行事の一環として県庁県民ホールで展示した（A1判カラー12枚；期間：平成23年6月6～10日）。また、その後は当センター内に展示している。

(6) 専門雑誌等の受入れおよび情報システム運営

① 専門雑誌等の受入れ（図書・情報委員会）

専門雑誌・行政資料の受付、データベース登録、ならびに図書等の整理・管理を行った。

② 情報システム運営

環境情報総合処理システムや公設試験研究機関科学技術情報ネットワークシステムを適切に運用するため、設備や情報の維持管理を行った。

1．3　衛生および環境に関する教育および学習の推進

(1) 衛生・環境教室等の開催

一般県民や小中学生向けの衛生教室や環境教室等の開催の企画調整を行った。平成23年度の実施状況は表4のとおりであった。

表4　衛生・環境教室等実施状況

年月日	事業	対　象　者	参加者
H23.5.10	環境教室 (西藤島小学校)	小学5年生	47名
6.5	環境科学体験デー	一般県民	121名
7.27	夏休み衛生・環境教室 ＜環境教室＞	小学生と 保護者	33名
7.27	夏休み衛生・環境教室 ＜衛生教室＞	小学生と 保護者	44名
10.15	「ふくい環境フェア 2011」への出展	一般県民	－
10.27	環境教室 (金津中学校)	中学1年生	30名
11.9	環境教室 (進明中学校)	中学1年生	6名
H24.1.25	環境教室（出前講座） (殿下中学校)	中学1年生	2名
3.7	環境教室（出前講座） (弥美小学校)	小学6年生	4名

各教室等の内容は概ね以下のとおりであった。

・環境教室

大気や水の汚れ、地球温暖化について、電気自動車見学・試乗　など

・環境科学体験デー

○ 実験・体験コーナー
　ア　省エネ効果
　イ　自転車で発電
　ウ　エコカー体験
　エ　みどり号見学
　オ　身近な植物を使った水や物の性質調査など
　カ　顕微鏡で水の中の生物調査
　キ　電子顕微鏡でミクロの世界の観察
　ク　音の大きさ調べ
　ケ　おいしい水の紹介
○ 研究紹介コーナー
○ 環境クイズラリー

・夏休み衛生・環境教室

衛生教室：「食中毒菌について調べよう」
環境教室：「身近な環境について調べよう」

・「ふくい環境フェア2011」出展

環境研究パネル展示、地球温暖化展示、水の透視度測定（ペットボトルで透視度計の作成）、COD測定（パックテスト）、大気環境測定車「みどり号」展示

(2) 環境情報コーナーの運営

当センター内に設置した「環境情報コーナー」において、環境図書、ビデオ、パネルの展示を行うとともに、要望に応じて貸出を行った。

１．４　健康寿命の算定

年齢階級別人口・死亡数、年齢別要介護認定者数をもとに、県、各市町の平成22年分の健康寿命を算定した。

１．５　衛生検査関係者および環境技術者の研修および指導

(1) 技術研修会の開催

当センターが主催した各種研修会（表5）において、連絡調整や当室の業務に関する部分の講師を担当した。

(2) 研修生、見学者の受入れ

研修生等の受入れの連絡調整や当室の業務に関する部分の講師を担当した。

① 福井大学医学部環境保健学実習生
- 学生数　4年生10名
  （保健衛生分野5名、環境保全分野5名）
- 期日　平成23年5月13日～6月24日の金曜日
  （計7日間）
- 内容
  保健衛生分野：病原微生物、食品衛生、健康長寿などに関する講義と実習
  環境保全分野：大気汚染、水質環境、常時監視などに関する講義と実習

② 福井県立大学生物資源学部実習生
- 学生数　2年生46名
- 期日　平成23年7月1日
- 内容　施設見学

③ インターンシップ研修生

学生が在学中に就業体験をするインターンシップ制度（福井県インターンシップ推進協議会　事務局：福井県経営者協会）に協力し、学生を受け入れた。
- 学生数　5名
  （福井大学2名、金沢大学2名、富山大学1名）
- 期日　平成23年9月5～9日（5日間）
- 内容
  当センターにおける保健衛生・環境保全対策業務について

(3) 所内研究発表会の開催

職員研修の一環として開催した（期日：平成24年3月13日）。発表演題は、「Ⅳ発表抄録 目次」に記載した。

１．６　調査研究

平成23年度は、次の3課題の調査研究を実施した（当室職員が主担当となって実施したもの）。

① 効果的な健康長寿推進のための地域診断支援システムの構築とその活用に関する研究－地域の特性に応じた生活習慣病対策を支援する－
（研究期間：平成23年度）

② 大気中微小粒子状物質(PM2.5)の実態解明に関する調査研究
（研究期間：平成22～24年度）（環境部と連携）

③ PM2.5と光化学オキシダントの実態解明と発生源寄与評価に関する研究（国立環境研究所Ⅱ型共同研究）
（研究期間：平成22～24年度）（環境部と連携）

表5 保健衛生および環境保全に関する技術研修会の開催状況

年月日	研　修　内　容　な　ど
H23.6.8	食品衛生基礎技術研修会 ・食中毒検査法の概要と最近の食中毒事例 ・市販食肉におけるサルモネラおよびカンピロバクター等の汚染実態調査について ・調査研究「糞便検体等からの迅速な病原細菌検出のための研究」について ・ウイルス性食中毒について ・食品収去検査(理化学試験)について （講師：保健衛生部　参加者10名）
6.27	環境担当職員基礎技術研修会 ・みどりネット環境情報システムの活用法 ・平成23年度の環境保全対策事業 ・騒音・振動・悪臭測定の留意点 ・アスベストの測定方法について ・水質異常時における対応 （講師：環境部、健康長寿推進室ほか　参加者25名）
10.14	感染症基礎研修会 ・近年の県内の感染症の話題から ・調査研究紹介「県内に流行するウイルス性胃腸炎感染症の解明研究」 ・腸管出血性大腸菌発生状況 （講師：保健衛生部　参加者13名）
H24.1.10	衛生統計基礎研修（注） ・講義「現場で行う地域診断」 （講師：健康長寿推進室　参加者31名） （注）県庁において、地域福祉課と共催で新任期保健師等研修会の一部として実施
3.9	衛生環境研究センター研修会 「腸管出血性大腸菌による食中毒」 ・講演：「焼肉チェーン店における生食肉による腸管出血性大腸菌食中毒について」 （講師：富山県衛生研究所　綿引正則 氏） ・報告：「福井県における腸管出血性大腸菌検査状況」 （報告者：保健衛生部　永田主事） （調整：保健衛生部　参加者　53名）